

新潟大学公開森林実習
フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習 2019年度 実施要項

担当教員：本間航介・崎尾均・阿部晴恵・松倉君子（新潟大学佐渡自然共生科学センター）

互換単位数：1（互換単位は単位互換協定のある大学間で認定されます。互換協定が締結されていない大学から受講される場合は、特別聴講生扱いとなり新潟大学の修了認定が行われます）

実施時期：2019年9月24日（火）～9月28日（土）

集合時刻：2019年9月24日（日）12：00

（新潟港9時25分発カーフェリー利用を推奨。*船の時刻は佐渡汽船HPでご確認ください。）

集合場所：両津港佐渡汽船ターミナル改札出口（バスにて 演習林に移動します）

連絡先・実習場所：新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林

〒952-2206 新潟県佐渡市小田94-2

TEL：0259-78-2613 FAX：0259-78-2929

Email：homma@agr.niigata-u.ac.jp（本間航介） 携帯電話 090-7288-6950

アクセス方法：新潟駅万代口からバスまたはタクシーにて新潟港佐渡汽船ターミナルへ（バス15分、タクシー10分）、新潟港から佐渡汽船カーフェリーで2時間30分、またはジェットフォイルで1時間。両津港から演習林まで車にて90分（実習生は両津港から送迎します）。

地 図： <https://www.visitsado.com/spot/detail0523/>

対象学生：森林科学または生態学などを専攻する学部学生で、卒業研究などで特にフィールド調査を頻繁に行うことを予定している者を対象とする。主として2・3年次生対象。

（本実習は、新潟大学農学部の同名の実習と併催します）

定 員：6名（超過の場合は抽選となります）

実習課題：近年、野外調査中の深刻な事故が多発しており安全管理は森林科学者にとって重要な問題になっています。野外でフィールドワークを安全かつ確実にを行うためには、その基礎として、山野での行動技術や危機回避技術を持つことが必須となります。本実習では、天気予測、読図法、救急救命法、木登り調査法、幕営法、ロープワーク、自動車運転など野外調査を遂行するために必要な基礎技術を網羅的かつ体系的に取得し、困難な調査を安全に行うための能力を身につけることを目標とします。佐渡島の豊かな自然環境を楽しみながら、野外で安全に調査することの重要性を学んでください。
*：本実習は、日本生態学会安全管理委員会の安全管理マニュアルに準拠しています。

参加費用：宿泊費・食費の実費合計12000円（食事内容により前後する可能性があります）

9月24日に新潟大演習林到着後に集金します（残金は終了時に返金）。

別途交通費 新潟港-両津港往復（二等）4640円がかかります。

持ち物：長袖・長ズボン（ジーンズ不可）・雨具・帽子・長靴・軍手・着替え類・筆記用具・リュックサック・タオルと洗面用具・腕時計・水筒、持病薬・割り箸（以下は持っている人のみ）寝袋・ヘッドランプ・コンパス・双眼鏡・登山用食器類

注意事項：山の中での行動が多くなるため、体調管理には十分に注意すること。持病（アレルギー・肝炎など）があり、虫刺され時やケガによる出血時に特別な対処が必要な者は事前に申告すること。また、各大学で取り扱っている学生教育研究災害傷害保険（学研災）・学研災付帯賠償責任保険（学研賠）、または、大学生協が扱っている学生総合共済・学生賠償責任保険に必ず加入しておくこと。

アレルギーなどフィールドにおいて注意すべき疾病がある場合はご相談下さい。

キャンセルポリシー：実習開始3日前以降の聴講取り消しは、食事などの事前準備に要した実費100%を請求します。

*ご応募は、6月12日（金）までに本間(homma@agr.niigata-u.ac.jp)まで、メールにてご連絡下さい。折り返し、学務係から受講のための手続きについてご連絡しますので、所属大学・学科・学年・ご氏名・連絡先を記し、必ず「公開森林実習受講希望」とメールヘッダーに題名をつけてご送信下さい。

4泊5日の実習形式で行います。以下の内容について実技トレーニングを主体とした実習を行います。本年度の日程表は、本間より参加予定者に後日送付します。

- 1：フィールド調査における安全管理概論、事故事例の分析[海外傷害保険・フィールド保険・学研災]
- 2：調査計画の立案と入林許可の取得[国有林入林許可申請]
- 3：読図法・ルートファインディング・歩行法 [測位・高度差・等高線]
- 4：天気図の読み方と観天望気[気圧配置・雲級・雲形・地形風]
- 5：救急救命法 [心肺蘇生術・止血法・運搬法・包帯法]
- 6：ロープワーク [ザイルワーク・安全確保・ユマーリング]
- 7：木登り調査法 [高所での安全確保・林冠調査・枝打ち]
- 8：野外露営法 [キャンプ・ビバーク技術]
- 9：事故発生時の対応手順 [無線・衛星携帯電話・携帯電話の利点と欠点]
- 10：フィールド調査における自動車運転・車輛故障への対応 [車体構造・自動車保険の仕組み]